

TSUTAYA 0-EASTでライブがしたいです。may in filmの始まりの景色をここに焼き付けた!!!!



7月3日(土)、新しいアイドルグループがライブハウスという舞台の上で産声を上げた。may in film。メンバーは、冬野ななせ/伊波すい/小槇しゅか/成瀬まいの4人。彼女たちは、デビューソング「スターゲイザー」を通し、星空に煌めいた光に私はなれるかな 少し怖いけどあなたを照らしてみせる」と歌いかけてきた。4人とも、アイドルとしてはまだまだおぼつかない存在だ。でも、その小さな身体には、星空に煌めく無数の光のよりもたくさんの夢と想いを詰め込んでいる。

may in filmをプロデュースしているのが、Halo at 四畳半の白井将人。同じくHalo at 四畳半の渡井翔汰も、may in filmのために「スターゲイザー」を提供している。加えて、群青の世界や境界線を手がけているBIG ISLAND RECORDが活動をバックアップ。その期待を示すように、7月3日(土)にTSUTAYA 0-Crestで行なったデビューライブ「may in film debut live”prologue”」のチケットはSold Outを記録。観たくても観れない人たちが続出したことから、急遽、YouTubeでの無料ライブ配信も行なわれた。今、この事実気付いたあなたのためにも、当日の様様をここへ記したい。

制限された人数とはいえ、フロアの最後方まで人の詰めかけた場内。may in filmに対する期待と好奇心は、心地好い緊張感も漂う場内の空気からも伝わってきた。

煌めくようなその優しい音色(SE)

は、リズムが大きく躍動するのに合わせ熱を帯びだした。高まる期待、高ぶる感情。白い光に照らされ、メンバーたちがシルエット姿で次々と舞台へ姿を現した。一瞬の沈黙。。。そして、流れ星がスーッと近づくように音のボリュームが上がりだした。

「もしも私の生命に理由があるなら

きっと片手で数え切れてしまうだろう」。眩い光に包まれた中、一人一人が声を繋ぎながら歌いだしたのがmay in filmのデビューソングの「スターゲイザー」。

まだ少し固い表情だ。でも、必死に想いを届けようと、ときに胸に手を当て、彼女たちは「幾千も息絶えた夢の上から

それでも新しい夢を見続けている」と歌いかけてきた。サビ歌で4人が気持ちを一つに歌った瞬間、舞台上がさらに煌めいた。それは、4人の前を向いた気持ちと舞台を照らす白い光が結びあったから。そう思わせるくらい、その歌声に熱と輝きがより一層注がれたように感じていた。そこから、4人の表情にも笑みが浮かび始めたのは。きっと、緊張という境界線を4人が一緒に飛び越

えたからこそ、彼女たちは次第に自分らしさを見せながら、伸びのある歌声で「何故人は歌を歌うのか

それが人の胸を打つのか」と想いを強く届けてきたに違いない。胸に大きな夢と希望を抱えている4人だからこそ、自分らしさを取り戻すたび、その姿に自信が漲ってゆく。まだ少しの不安も忍ばせながら。でも、4人は力強く歌声の翼を広げ、空(未来)に羽ばたきだした。

MCでは、小槇しゅかがリードを取りながら話を進めてゆく。「一緒に過ごす時間を幸せいっぱいにしていきたい」と小槇しゅかが語れば、成瀬まいは「緊張しかしてないけど、みなさんのお蔭で安心できました」と、歌い終わりほっとした気持ちを伝えてきた。伊波すいが、歌い終えた「スターゲイザー」について「いろんな人の想いが詰まった曲」と説明。冬野ななせは、次に歌う「前髪」について「今のmay in filmの中で一番可愛くてキッチャーでポップ」と紹介してゆく。

その言葉を受けて歌った「前髪」は、触れた瞬間から胸をときめかせる華やかに躍動したポップチューン。彼女たちの中にある愛らしさや、あどけない女の子らしさを投影…もしているが、歌声やパフォーマンスに力強さを覚えるのは、彼女たち自身が強い意志を胸に活動しているからだ。4人の歌声が重なったときに覚えたのも、可愛らしいというよりは凛々しい声の表情。それは、アイドルでありながらもアーティスト然とした意志を持っていることの現れ。4人とも常に笑顔で浮かべ、愛しい人への想いを告白するように歌う。可愛らしさの中に隠し持った凛々しい姿と強い意志。そのギャップが見えてくるたびに、彼女たちに心惹かれてゆく。

次に歌う「ADVANCE」について、「日頃の鬱憤や嫌なことを一緒にぶち壊しながら聞いてください」と冬野ななせが語れば、その言葉と相反するように、伊波すいが「けっこう幸せな日々を送っている」と答えていたやりとりに、このグループをもっともっと探してみたい好奇心も覚えていた。

最後にmay in

filmは、激しく、力強く駆けだしたロックサウンドに乗せ、「ADVANCE」を凛々しい歌声で歌いだした。胸の内に溜まった鬱憤をぶちまけるように。未来へ向けて高ぶる気持ちを宣言してゆくように、4人は高く突き上げた拳を振りまわしながら歌っていた。may in filmには、気持ちを熱く揺さぶる楽曲が似合う。ときに雄々しささえ覚える歌声に触れるたび、4人は強い意志を秘めたアイドルであり、アーティストでもあると感じてしまう。メンバー自身は、アーティストという意識は持ってないかも知れない。でも、無意識の中、自分の意志を高く掲げ歌をぶつける姿は、歌わされているのではなく、意志を持って歌うことを選んだ人たちだからこそその姿。「蹴っとばして歌う」の場面で、伊波すいが自然体な姿で足を蹴り飛ばしながら歌う姿も印象的に臉に焼きついた。彼女たちの歌やパフォーマンスへ触発され、フロアからも無数の拳が突き上げられていた。歌い終わり、4人がシルエット姿として目に映った瞬間、気持ちがより一層高ぶり、胸が熱くなる感動と興奮も覚えていた。

アンコール前に、メンバー一人一人が、この日のライブの感想を述べだした。

「わたしがmay in

filmとして活動を始める前に、プロデューサーの白井(将人)さんに、8年間使ってきたtwitterのアカウントを使い続けるか、新しい人生の始まりとしてやり直すかと相談をさせていただきました。白井さんからは「最後は自分で判断してほしいけど、8年間の今までの活動をすべてmay in filmにベットしてほしい」と言われた言葉をきっかけに、アカウントを継続させていただいています。わたしは60歳まで使っていくアカウントだと思っています。may in filmというステージで、わたしはガチで頑張っていくので、応援よろしくお願いします」(小槇しゅか)

「わたしはアイドルにずっとなりたくて今このステージに立っているの、may in filmとして人生を賭けてアイドルをするし、みなさんが幸せになれるように頑張るので、ついてきてくれたら嬉しいです」(成瀬まい)

「わたしはこの4人で活動するとなって、わたし本当に人見知りだし、こんな可愛い3人が集まった中で、わたし大丈夫かな?こんな美女たちに紛れていいのかな?と書いていたんですけど。今では仲良しだよ。すでに絆があるので、このメンバーとならどこまでもいけると書いていますから、みんなもぜひついてきてくれたら嬉しいなと思います」(伊波すい)

「個人的には、このデビューという日を目指してきたんですけど。目標がゴールになって、明日からまた新しいスタートを切って、また新しいゴールに向かって歩いたり走ったりしていけたらいいなと思っています。TSUTAYA 0-EASTでワンマンがしたいです。良かったら一緒にいてください。その日までいろんなステージがあると思いますが、みなさんがmay in filmを観てくれることが幸せなので、これから先もずっとそんな未来と一緒に過ごしていきたいです。may in filmのデビューライブは序章に過ぎませんので、これからのmay in filmをよろしくお願いします」(冬野ななせ)

アンコールでふたたびmay in filmは、デビューソングの「スターゲイザー」を歌唱。最初に歌ったときは、まだまだ固い表情をしていたが、一つ大きな舞台に立って経験を重ねた4人の歌声には確かな自信が漲っていた。伸ばしたその手には、響かせた歌声には、確かに熱と光が宿っていた。紡ぐ言葉のひと言ひと言に意志を感じたのも、彼女たちがライブを楽しむ以上に、ここから絶対に光をつかむまで突き進むと強い意志と決意を示していたからに違いない。みんなが笑みを浮かべ歌っていたのも、自信の現れだ。「光はここにあるんだよ」や「暗闇を切り裂いた声」の歌詞通り、4人はここにいる人たちみんなを引き連れ、自分たちが夢見る景色の中へつれていこうと約束を交わしていた。その始まりの約束を交わせたことが素直に嬉しかった。

may in filmの次のライブは、[7月11日\(日\)](#) 六本木BIG HOUSEに決定。この日は、第一部が冬野ななせの生誕祭として。第二部が、may in filmの定期公演という形で行なわれる。may in filmの存在が気になった方は、ぜひ足を運んでほしい。

最後に、メンバー一人一人のコメントと、プロデューサー白井将人の言葉を記したい。

「今日はmay in filmとして初のライブで、直前までかなり緊張したんですけど。ステージに出たらすごい楽しかったの、良い時間を過ごせて良かったなと思っています。じつは初MC担当でけっこう緊張したんですけど。なんとかなって良かったです」(小槇しゅか)

「may in filmとして初めてデビューライブを終えたところですけど。前日まで緊張というか、実感がなくて、「ホントに明日がデビューライブなのかな?」と書いてて。今日、本番前になって、たくさんの人たちが集まっている姿をモニターで見て「ほんとに人がいるんだ」と思ったら、そこで急に緊張しちゃいました。ステージに出たらみんながいて、みんな笑ってくれたり、中には泣いてる人もいて、ちょっともらい泣きしそうにもなったんですけど。でも、みんなが楽しそうにしている姿が見えてすごく嬉しかったし、今日のライブすっごく楽しかったです。」(伊波すい)

「たくさん練習してきたんですけど、本番を迎えたら緊張のあまり失敗もあったように反省すべき点もあるんですけど。これからどんどんライブがあるので、成長し続けてゆく私たちを見ていただけたら嬉しいです。今日も、最初の「スターゲイザー」のときはすごく緊張したんですけど。みなさんの顔を見て、とても温かく迎えてくださっているんだなと思ったら、だんだん緊張がほぐれてきて、みなさんのおかげで良いライブが出来たなと思っています」(成瀬まい)

「ちょっと体力もなかったのですが、デビューまでに1から身体が仕上がるかなと不安もあったんですけど。今日はチケットもSold

Outして、みんなが楽しそうにしている姿を見ていたら、頑張ったのは無駄じゃなかったんだなと思えたし、すごく楽しかったです。ちょっと込み上げるものがあったんですけど。それは、みんなが楽しそうにしている姿が一番グツときたからでした。自分も楽しかったけど、お客さんたちも楽しかったようで、その相互作用でもっともっと楽しくなっちゃって、やっぱり涙が込み上げてしまいました。

7月11日(日)には、六本木BIG HOUSEを舞台に、お昼に「冬野ななせ生誕ライブ」が。夜には、may in

film初の「定期公演」が行なわれます。デビューライブからほぼ一週間後、今日アガったテンションを下げずに、その日までに歌やダンスをもうちょっと磨いていけたらいいなと思います」(冬野ななせ)

「自分がステージに立っていないのに、来てくれるお客さんの反応が気になるのが新鮮というか、なかなか今まで味わったことのない感覚だったんですけど。バンド時代、本当に音楽で夢を見させてもらっていたので、この感覚をずっと忘れたくないなあという気持ちが僕の中にはあります。それを…僕がHalo at

四畳半として味わってきた音楽の素晴らしさを、ファンの人にも味わってほしいし、メンバーにも知ってほしい。音楽を本当に楽しむことで、人生ってすごく豊かになるんだぞというのを知ってほしいなと思っています。今日のデビューライブを見て、その第一歩が見えました。今後は、メンバーのやりたいこともどんどん叶えていきたいなと思ったし、僕としても叶えたいことがいっぱい出てきました。最初の第一歩目としては素晴らしいライブになったと思うので、これからも精一杯プロデューサーとして、メンバーのアイドル性やアーティスト性をどんどん伸ばしていけたらいいなと思っています。

may in filmのキャッチコピーが、「命を歌うアイドル」。僕のバンド人生の中、渡井翔汰(Halo at

四畳半)が書いてきた「生きること」や「命について」というところが僕の中で音楽的な礎になっているので、重いテーマだと思いますけど、そこをしっかりと歌い、パフォーマンスしていけるアイドルグループにしたいなと思います。同時に、音楽至上主義のハードルの高いグループにはしたくなくて。アイドルとして「可愛い」「応援したい」気持ちをしっかりファンの人にも伝えられるようなハイブリッドな、自分のエゴになりすぎないグループにもしていきたいと思っています」(白井将人)

PHOTO: うつみさな

TEXT: 長澤智典

may in film / スターゲイザー(Music Video)

may in film debut live”prologue”

★インフォメーション★

【LIVE info】

7/11(日)六本木BIGHOUSE

”冬野ななせ生誕祭”

OPEN/START 12:00/12:30

Aチケ:¥2,000

チケット購入：<http://tiget.net/events/135901>

定期公演[mf meeting vol.1]

OPEN/START 17:00/17:30

前売¥2,000

女性入場無料 (チケット残り僅か)

チケット購入：<http://tiget.net/events/135905>

may in film Web

<https://mayinfilm.com/>

may in film twitter

https://twitter.com/may_in_film

may in film YouTubeYouTubeチャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCMJtqYQa_n_vlYlw7ZeVi4g

冬野ななせ

@nanase_mif

伊波すい

@sui_mif

小槇しゅか

@syuka_mif

成瀬まい

@mai_mif

Producer 白井将人

@shelie_Halo

Sound Producer BIG ISLAND RECORDS

@BIR_Tokyo

セットリスト

「スターゲイザー」

「前髪」

「ADVANCE」

-ENCORE-

「スターゲイザー」

Generated by ふれりりプレスリリース
<https://www.prerele.com>